

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 指導計画に基づき、子どもが主体的に活動するための環境を構成し、学びをみとる力を高める。	(1) ◎	子どもの姿から定期的に遊びの環境を見直したり、子どもの学びを終礼で語り合ったりできた。
		(2) 保育教諭の自己評価と保護者アンケートを実施し、教育・保育の見直しを行い、質の向上を図る。	(2) ○	結果を踏まえ、保護者との連携が強化できるように改善点を含め保護者への発信の仕方を考えていく。
		(3) 保育カウンセラーと連携し、一人一人に合わせた支援の在り方を検討し実践する。	(3) ◎	保育カウンセラーからのアドバイスを共有し、実践につなげられた。
		(4) ヒヤリハットや事故報告などから対応や事故防止策を検討し、安全について共有し、環境を整えていく。	(4) ◎	
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) みあいっこ研修や園内研修を計画・実施し、教育・保育の質の向上を図る。	(5) ◎	みあいっこ研修年2回実施。終礼を活用し子どもの姿から園内研修を行い、質の向上を図った。
		(6) 教育・保育に関わる法律や要領を理解するとともに、国及び県や市の動向の情報収集を行う。	(6) ○	
		(7) 職員一人一人が職種や経験年数に応じた研修に積極的に参加し、学んだことを園内で共有する。	(7) ◎	正規職員、会計年度職員共に、様々なオンライン研修を受講し、保育に活かしたり、内容を共有したりした。
Ⅱ 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や送迎時、連絡帳などで情報交換し、育児相談の充実を図ったり情報を提供したりする。	(8) ◎	キッズビューの活動記録の中で、遊びだけでなく生活面の情報提供を行った。
		(9) ICT（キッズビュー、そだちえ）を活用し日ごろの活動を配信し、園の教育・保育の内容の情報提供をする。	(9) ◎	行事ごとに活動記録を配信したり、クラスごとに月に4回キッズビューを配信したりしている。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を行い、地域の子育て支援の充実を図る。	(10) ◎	夏祭りはびよんびよんルームと連携して行うことができた。未入園児もたくさん参加できた。
		(11) 公民館と連携し子育てマイスターを活用し、子育て支援の充実を図る。	(11) ◎	びよんびよん便りで情報提供を行ったり、声をかけたりして、地域の親子との交流をもつことができた。
		(12) 育児相談や支援についての知識を身につけ、育児相談を積極的に行う。	(12) ○	
Ⅲ 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) こども家庭センターや支援事業関係機関への情報提供を行い、連携した支援を行う。	(13) ○	
		(14) 地区の子育て支援に関する協議会等に参加し、情報を共有する。	(14) ○	園長が美山公民館運営審議会委員に委嘱されており、定期的に情報を共有している。
		(15) 園小連携会議を開催し、接続カリキュラムを作成する。美山3地区の小学校との連携・交流を行う。	(15) ◎	接続カリキュラムを作成し、それに基づき、各小学校に出向き交流や連携を積極的に行った。
		(16) 美山中、美山分署、美山駐在所、公民館との災害時・緊急時のネットワークを強化する。	(16) ◎	中学校と連携し、水害を想定した避難訓練を行うなど、地域との連携を深められた。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 公民館（地域子育て支援事業等）で開催する行事の情報提供を行ったり、行事へ参加したりする。	(17) ◎	文化祭で園児の作品を展示、びよんびよんルームの紹介を行ったりした。
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育体験や実習生を受け入れ、子育てへの関心を高め、社会全体で育んでいく子育て文化を発信する。	(18) ◎	美山中学校の生徒や仁愛大学、仁愛女子短期大学等の実習生を受け入れ、乳幼児と触れ合い、関心を深められた。
		(19) 人形劇やクリスマス会等の開催をお便りなどで地域の保護者に知らせ、参加を呼びかける。	(19) ◎	人形劇、クリスマス会など地域の親子が参加して楽しんでもらうことができた。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 子育てに関する研修や集いなどの情報を提供し、保護者に参加してもらうよう呼びかける。	(20) ○	
		(21) 美山地区の敬老会や文化祭等に参加し、発表や交流、作品展示などを行う。	(21) ◎	5歳児が地区敬老会で発表を行ったり、文化祭では3・4・5歳児の作品を展示し交流を深められたりした。
Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 公立認定こども園の連絡会に参加し、こども園に関する県や市からの情報を伝達し周知する。	(22) ◎	園長が公立認定こども園の連絡会に参加し、情報共有を行った。
		(23) 園小接続講座などの研修に参加し、こども園の取り組みを発信したり情報交換をしたりする。	(23) ◎	研修に参加し活発な意見交換ができた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画を、園の指導計画に位置付け、実施する。	(24) ◎	アクションプログラムに基づいた活動計画を実施できた。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。